

宇治情報

No.88

(体験集通算 438号)

宝 蔵

四無量心のこころ

生長の家宇治別格本山 宮司・総務

堀 端 芳 樹

宝蔵会の皆様方におかれましては、コロナ禍にありましても宇治別格本山の諸活動にご愛念とご理解を頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

これまで新型コロナウイルスによる感染拡大防止の為に特定の地域に出されておりました「まん延防止等重点措置」もようやく、解除されることとなりましたが、全国的にも感染状況はまだまだ高い水準にありますので、日々の生活でこれまで通りに手洗い、うがい、マスクの着用、三密を避ける等の感染対策を取られますようお願い申し上げますと共に、同ウイ



スによる混乱が一日も早く終息することを祈念申し上げます。

さて、最近ロシアによるウクライナへの侵攻のニュースが連日のように報道されております。日本から遠く離れた地域での戦争の様子を見て、多くの人たちが、まさかと思う気持ちで注視しているのではないかと思います。この侵攻で住む家を追われて多くの難民が、国の内外に押し寄せて、国内と国外をあわせますと一千万人を超えているそうでありまして、第二次世界大戦以来の大規模難民の発生により、多くの人々が不自由な生活を強いられております。また、難民が押し寄せたポーランド、ハンガリー、ルーマニア等の近隣の国々も難民対策で大変な状況になっております。元々ロシアとウクライナとは、旧ソ連の時代は同じ連邦を形成する国として、互いに親しい間柄であり、互いの国に親戚があつたりしていれば兄弟の關係にあつたのであります。『有情非情悉く兄弟姉妹と悟る祈り』の中で、「すべての生き（次頁に続く）

とし生けるもの、ありとしあらゆる物ごととくに「神の生命」が宿っており、そのすべてが私たちの生命と一体であるから、天地一切のものは、私たちの心の響きに感応して、ある結果をもたらすのである。・・・このように示されておりますことから、すべての生命は一体であります。このような状況で大切なのが、「四無量心」の心に目覚める事ではないかと思えます。四無量心とは、無量の衆生に対して、樂を与え、苦を除かせようとして起こす四つの心。すなわち、他人への慈しむ

慈無量心、苦しみを除く悲無量心、他人の樂を喜ぶ喜無量心、他人に対して愛憎の心がなく平等である捨無量心の四つの心を指します。国と国とが争って世界が混乱状態に陥っているときには「四無量心を行ずる神想観」を実習して、多くの人々が「四無量心」に目覚めますようお祈りいたしますと共に、「宝蔵神社の先祖供養」「宇治練成会」「入龍宮幽斎殿行事」の活動をとおして、神・自然・人間の調和する人類光明化運動・国際平和信仰運動の発展に寄与してまいりたいと思えます。

随想

二年ぶりの帰省

祭司部

課長 鵜飼俊光

先日、二年ぶりに滋賀の実家に帰省させていただきました。まだまだコロナ禍でまん延防止等重点措置が解除されない中、この度の帰省に踏み切ったのは、ある日、父と母とで久しぶりに食卓を囲んだ夢を見たからで、強烈に滋賀の実家へのホームシックにかかったからでありました。急なことだった

ので実家に電話した時も、そんなに急がなくてもいいとの返事をもらいましたが、とにかく行くから都合のいい日はいつだと弟に聞くと、十三日が良いとの事で、この日に帰省をすることにしました。日程が決まってきたので数日は、父と弟の事や古里の情景が思い浮かび、なにやら温かいものに包まれて



いるような感じが続きました。

帰省当日の朝、家内と娘と三人

で滋賀へ向かう高速道路の途中で、車のナビのお姉さんの声の「ただいま滋賀県に入りました。」の声を聞いた瞬間、思わず涙が一筋頬を伝うのを感じました。後ろの家内と娘には気づかれなかったのは幸いでしたが、私の故郷滋賀県への思いが、殊の外強烈だったのに驚きました。普段はあまり思わないで生活しているが、私の中にはちゃんと古里の魂が宿っているのを再認識しました。

そうこうしているうちに実家近くまで来たときに、実家に行く前によく使っていた最寄り駅に寄りました。利用していたころよりは綺麗に内装も外装もなっており、トイレも大きく新設されていました。その中で、古くなっているのが昔の儘の自転車置き場があり、その外灯に来るカブトムシ等を探っていた小学生のころを思い出しました。少しそこで小学生時代を楽しん

だ後、実家に到着しました。もう周りの風景は昔の儘で、時間が存在しないかのようでした。

玄関を開け、出迎えた父を見たときに、正直時間の経過を感じざるを得ませんでした。話すといつもの父だが、見た目は確実に時間を刻んでいました。弟にも会ったが、弟にも確実に時間が流れたようでした。二年という短い時間だが離れていた時間は、平等に私たちの間で流れていました。仏壇へ帰省の挨拶のお参りに向かい、仏壇に飾つてある母の写真に再会した時、いろいろな思いが去来して、胸が熱くなりました。やはりここが私の始まった場所なのだと、心地よいゆりかごの中のような感じがしました。

仏壇へのお参りを済ませた後、近くのお寺にあるお墓へお参りました。普段は実家の家のお墓にしかお参りしないのだが、初めて本家のお墓にもお参りさせていただきました。お参りさせていだいて、背筋がピンとするのを感じました。そのあと産土の神社二社へ参拝し、母が存命中にはよく一緒に行ってた横道の地藏さんへもお参りができました。相変わらず三体のお

地藏さんは可愛らしい前掛けをさされて、何年振りか忘れましたが、久しぶりの私を出迎えてくれました。依然と変わらない風景をなつかしく感じながら、父・弟ととりとめのない会話を楽しんだ後、宇治へ帰ってきました。

長田元部長への感謝のお手紙〈第二〉

A. M (70代〈女性〉)

二月号『宝蔵』「飛躍的生長のとき」を読ませていただきました。切々とお心を訴えておられるご文章に心打たれました。時をおいて三回ほど読ませていただきましたが、どのようなことばで氣持を申し上げてよいかわ、未だに定まりません。「驚天動地の世界」のお言葉に、如何にたたひたすら参加者のため、神様の心を生き、沢山の人々を救つていらつしやうたか…そのお姿が浮かびます。

宇治は私の心のふるさと、母なる世界へ全てを受け止め、神様の世界へと導

今回の二年ぶりの帰省は、やはり自分にも確実に古里があり、出迎えてくれる親兄弟があることを再認識し、そういうことへの感謝の思いが自分の中で強烈に脈打っていることを強く再認識した機会でありました。

いてくださる大切なところです。長田先生をはじめ宇治でお世話くださる皆様のお陰で、今の幸せな日々があります。コロナの中で送っていたいただいた寄せ書きは額に入れて床の間におき、皆様のことばに力を頂いております。『大調和の神示』の写経は、ファイルに入れて写経台におき、日々祈っています。手書きの写経の何と温かいことかと、皆様の愛の心が伝わって、尊うとくも有難く感謝の思いで読誦しております。コロナが終息して宇治へ行っても、長田先生には会えないのかと思うと寂しさが募ります。でも素晴らしい先生のこと、またいつかお声が聴け、お会いできることを楽し（6頁に続く）

4月 ご先祖と共に悦びの一日講話プログラム 〈会場：大講堂〉

聴講希望者 30 名迄は三密を避け感染防止対策を行った上、参加出来るようにする（会場は人数に応じて使用する）

日付/曜日	テーマ	時 間	講話 及び 行	講 師	テキスト
2日 土	祈 り	10:10～11:00	開会の祈り・実相と現象	清水 志郎	「森の日ぐらし」 「幸福を招く365章」
		11:15～12:00	神の子を生きる	阿部 秀輝	「森の日ぐらし」 「幸福を招く365章」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(清水 志郎)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	汝みすから生知れ	岡田 浩二	「森の日ぐらし」 「幸福を招く365章」
		14:00～14:50	常に祈りと共に・閉会の祈り	榎本 一子	「森の日ぐらし」 「幸福を招く365章」
3日 日	日時計主義の 生き方	10:10～11:00	開会の祈り・明るい心が人間の本性	榎本 一子	「森の日ぐらし」 「幸福を招く365章」
		11:15～12:00	朗らかに笑って生きよ・朝の時間を生かせ	清水 志郎	「森の日ぐらし」 「幸福を招く365章」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(榎本 一子)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	善くなるしかない！	岡田 浩二	「森の日ぐらし」 「幸福を招く365章」
		14:00～14:50	生長の家の生活法・閉会の祈り	堀端 芳樹	「森の日ぐらし」 「幸福を招く365章」
9日 土	悦びの 先祖・流産児供養	10:10～11:00	開会の祈り・生き通しの生命	岡田 浩二	「凡庸の唄」 「神と信に生きる真理365章」
		11:15～12:00	感謝はすべてを癒す	清水 志郎	「凡庸の唄」 「神と信に生きる真理365章」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(岡田 浩二)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	神がすべてなり	小野 大作	「凡庸の唄」 「神と信に生きる真理365章」
		14:00～14:50	悦びの先祖・流産児供養	堀端 芳樹	「人生を支配する先祖供養」
10日 日	無限力を自覚する	10:10～11:00	開会の祈り・自己に宿る無限の力	岡田 浩二	「凡庸の唄」 「神と信に生きる真理365章」
		11:15～12:00	取越し苦労することなかれ	榎本 一子	「凡庸の唄」 「神と信に生きる真理365章」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(岡田 浩二)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	神がすべてなり	新宮 一	「凡庸の唄」 「神と信に生きる真理365章」
		14:00～14:45	言葉の力で運命は変わる	清水 志郎	「凡庸の唄」 「神と信に生きる真理365章」
		14:45～15:20 感謝講行 実修・閉会の祈り		清水 志郎	
		4月16日午後3時30分より「先祖・流産児供養祭」が執り行われます。記載した聖牌を奉納金1柱100円以上を添えて現金書留にてお送りください。宝蔵神社重慶に奉安されます(べ切は13日必着)。 「先祖・流産児供養祭」はFacebook投稿からライブ配信いたします。ぜひご覧ください。			
16日 土	祈り合いの神想観	10:10～11:00	開会の祈り・神八愛也	清水 志郎	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
		11:15～12:00	神の子の自信が前途を照らす	千羽 真平	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(清水 志郎)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	祈りは必ず叶えられる	榎本 一子	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
		13:45～14:20	祈り合いの神想観 実修・閉会の祈り	榎本 一子	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
17日 日	働く悦び	10:10～11:00	開会の祈り・富は神より来たる	榎本 一子	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
		11:15～12:00	仕事の意義と尊さ	清水 志郎	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(榎本 一子)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	救われ済みの人生	田野 靖彦	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
		14:00～14:50	使命に生きよ・閉会の祈り	堀端 芳樹	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
23日 土	浄心行	10:10～11:00	開会の祈り・罪本来なし	榎本 一子	「如意自在の生活365章」 「理想国へのご招待」
		11:15～12:00	浄心行について	清水 志郎	「新しい文明を築こう・中巻」 「光明法語」
		12:00～13:00	浄心行用紙記載・昼食・休憩		昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	お父さんお母さんに感謝しよう	岡田 浩二	「如意自在の生活365章」 「理想国へのご招待」
		13:55～15:00	浄心行実修・閉会の祈り	清水 志郎	「甘露の法雨」 「万物調和六章経」
24日 日	幸せな結婚 家庭大調和	10:10～11:00	結婚の悦び	岡田 浩二	「如意自在の生活365章」 「理想国へのご招待」
		11:15～12:00	魂のめぐり逢い	榎本 一子	「如意自在の生活365章」 「理想国へのご招待」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(岡田 浩二)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	わが家は愛と悦びがいっぱい	清水 志郎	「如意自在の生活365章」 「理想国へのご招待」
		14:00～14:50	家庭大調和の秘訣・閉会の祈り	堀端 芳樹	「如意自在の生活365章」 「理想国へのご招待」
30日 土	自然と共に伸びる	10:10～11:00	開会の祈り・神の愛に生かされて	清水 志郎	「日々祈り」 「伸びゆく日々の言葉」
		11:15～12:00	いのちは一つ 地球は一つ	榎本 一子	「日々祈り」 「伸びゆく日々の言葉」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(清水 志郎)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	新しい文明を築こう ～神・自然・人間は本来一体なり～	岡田 浩二	「日々祈り」 「伸びゆく日々の言葉」
		14:00～14:50	愛こそはすべて・閉会の祈り	岡田 伊都子	「日々祈り」 「伸びゆく日々の言葉」
(5月) 1日 日	希望を成就する	10:10～11:00	無駄なものはない一つもない	岡田 浩二	「日々祈り」 「伸びゆく日々の言葉」
		11:15～12:00	希望は必ず実現する	清水 志郎	「日々祈り」 「伸びゆく日々の言葉」
		12:00～13:00	昼食・休憩 (12:45分より希望者のみ、 経本「大自然讃歌」一斉読誦)	(岡田 浩二)	昼食希望の方はご予約ください
		13:00～13:45	神の子無限力 やれば出来る！	千羽 真平	「日々祈り」 「伸びゆく日々の言葉」
		14:00～14:50	光を拡げよう・閉会の祈り	堀端 芳樹	「日々祈り」 「伸びゆく日々の言葉」

※参加は事前予約制となっております。2日前までには、お電話または申込フォーム(本山ホームページ、Facebookページからお入りいただけます)にてお申し込みください。分からないことがありましたら、練成部(0774-21-2153)までご連絡ください。

会場での講話聴講に是非お越しください

感染拡大に十分配慮したうえ、講話の聴講を受け付けます。(宿泊不可・事前予約制)

◆ 参加人数は先着30名までとなっております

◆ 健康リスクを踏まえ、以下の条件に当たる方の参加はご遠慮いただいています

- ・基礎疾患(糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)の方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方)をもった方
- ・体調不良(体温37.0度以上、息苦しさ、咳、だるさ、吐き気等)の方

◆ 参加に当たっての注意事項

- ・宿泊はできません。
- ・本山内ではマスクの着用をしてください(1枚50円で受付でも販売しています)。
- ・トイレ使用後は石鹸で手洗いをしてください。
- ・受付や会場。食堂・トイレ等の出入りの際は、手のアルコール消毒をしてください。
- ・ソーシャルディスタンス(約2メートル)を守り、身体的接触(ハグや握手)は避けてください。
- ・注意事項を守っていただけない方の参加はお断りいたします。

◆ 受付時

- ・申込用紙の体調記入欄を必ずご記入ください。
- ・検温を実施いたします。体温37度以上の方は参加をお断りいたします。

◆ 会場内での注意事項

- ・座席はソーシャルディスタンスを保っています。椅子のご移動はご遠慮ください。
- ・至近距離での会話、大声での会話はしないでください。
- ・飲食はご遠慮ください。

◆ 食堂利用時の注意事項(昼食利用の方は事前にご予約ください)

- ・マイ箸・マイボトル・ハンカチをご持参ください。
- ・1テーブルに1名ずつ座り、皆、同じ方向を向いて食事してください。
- ・食堂での会話はしないでください(黙食)。

◆ お申し込み方法(締切: 参加日2日前まで)

- ・電話0774-21-2153(練成部)、または申込フォーム(Facebook・ホームページから入れます)にて、
名前・県名・電話番号・参加希望日(別紙参照)等を伝え、
お申し込みください。

◆ 奉納金(昼食代は別途要/ご随意)

大人・・・1,500円/子供(3歳～12歳)・・・750円



(3頁から続く)みにしております。神様からの引つ張りだこの先生の明るい未来を信じて益々のお幸せをお祈りいたします。

I. K (60代)〈女性〉

私は宇治のすばらしい練成会によく参加させていただいているものです。コロナの影響で楽しみにしていた練成会に参加できず、寂しく残念な状況の中で、『宝蔵』誌が、私と宇治を繋いでいただいている唯一のもので、本当に感謝しています。

そのような中、二月号で二月末に長田先生が本山を卒業されることをしり、悲しく、寂しい気持ちでいっぱいになりました。

私が生長の家のみ教えに導かれたのは、『白鳩』誌が家のポストに入っていて、拝読し、感動したのがきっかけです。生長の家で友達になった方から宇治の練成会の素晴らしさを聞いて、一人で参加させていただいたのが二十年前です。

先生はいつも練成会参加者のことを考えてくださり、ご講話が板書からパ

ソコンからの大きな画面(プロジェクト)でわかりやすく見やすくなり、休憩時間の飲み物やお菓子の接待、大拝殿の暖房、ひざ掛けや洗面所のお湯など、皆が快適に過ごせるように色々お気遣い頂いたことは忘れられません。コロナ禍の中、皆様の真理の言葉の寄せ書きをいただいたときには、暗い気持ちがパッと光明化されました。

日々の生活の中では、高齢の母のことで、自分自身のことなどで不安で心が動揺しますが、そのような時生長の家のみ教えが、いつも私の心を支えてくださって、よき方向に導いてくださっていること、とても感謝しています。生長の家のみ教えに導かれていなかったら、私の人生は暗いものだったと思います。

長年にわたりご指導いただき、本当に有難うございました。

D. U (40代)〈女性〉

コロナ前までは、二十年以上年に一回練成会に参加して、長田先生の講話を拝聴させていただいていたことは本当に恵まれていました。今でも日常

のふとした何気ない瞬間に、よく思い出すことは、私がまだ練成に通い始めたころ、座談会の時に「本当は健康も不健康もないんだよ」とボソッとおっしゃったことと、講話で度々登場してきたトマトとナスの苗植えのお話です。生長の家にふれていても、長田先生のような「神の子、実相しかない」という、本当の真理に徹したご講話は他ではなかったもので、何万回お礼を言っても足りない気持ちです。

練成ならではの、ご講話以外でも休憩時間や廊下などでお話しさせていただけたことも、心が軽くなったり、新しい発見があったことも懐かしい貴重な思い出です。

これまで三十年近く練成に全身全霊いのちを注いできてくださいましたので、本山を卒業なさったら、少しはゆっくり過ごしていただきたいです。

約二十年間毎年夏に宇治の練成会でリセットさせていただき、神生してスタートしてきていたので、まだ先生が本山からいなくなれるという実感がありません。

これからはメールやお手紙、SNSなどでご連絡させていただく機会があ

れば、また明るくなれそうですし、希望の光が灯りそうです。よろしくお願い申し上げます。

H. N

(30代)〈女性〉

『宝蔵』を拝読し、長田先生が宇治を去られることを知りました。心底驚きまして只々呆然とし、同時に様々な想いが巡りました。正直、悲しみ、寂しさ、そしてショック…何とも言葉では上手く言い表すことが出来ません。

今から七年前自殺を図ろうとするくらいに追い詰められた出来事があり、もう生長の家もやめようという想いもありましたが、一方で「本当にそれでよいのか」と思っている自分がいました。そして背水の陣を敷き、最後に宇治の練成を受講させていただいてから、最終決断をしようと思い、まささらな気持ちで三月の短期練成へと向かいまわした。無になって受講し、自分の気持ちは特に動くことなく経過したのですが、最終日前日の長田講師先導の「祈り合いの神観想」での出来事でした。終盤に差し掛かる頃の祈りに入ると同時に、斜め上の方より「すべて真の信仰



に導くための観世音菩薩なのだ」という、低い声が聴こえて参りました。

雷に打たれたような、非常な衝撃でした。呆然としておりましたが、「ああそうか、そうだったのだ」と思え、あれほど決心した「生長の家をやめる」という思いが、驚くほどすーっと消えてしまったことを、今でも鮮明に覚えています。この短期練成会を受けていなければ、今の私はいません。別の人生を歩んでいたと思うと怖い気もします。

「真の信仰」とは、「観世音菩薩と拝むには」ということが私のテーマとなり、その後転居しても連休が取れた時には可能な限り宇治の練成会に参加させていただきまわした。遠くにいても宇治に行くことと癒しと勇気を得て、また頑張れる。特に長田先生の「実相と現象」「祈り」の講話に、毎度心を打たれ、救われて来ました。心が折れそうになってもずっと行じ続けることが出来ました。実相と現象をしつかり区別することの重要性が頭だけの理解からようやく体

感へと変じたように思います。

長田先生の講話の中で、野菜の苗のたとえ話があったと思いますが、それがとても深く理解できます。「真の信仰」の入り口によくよく立てたように思います。「ああ生長の家を続けてきてよかった！有り難い！」と心からの幸福感到に満たされております。崖っぷちから私を引き上げてくださった宇治の練成会、何より長田先生には感謝してもし尽くせません。

コロナ禍で宇治へ行くことが出来なくなり、寂しさに包まれていた時、ペン字写経を郵送していただき、そのご愛念に家族で涙したことでした。こんなにも人に寄り添うことが、出来るなんて…私もそうありたいと心から思います。

昨年末、関西に引越してきて「ご先祖と共に喜びの一日講話」に、念願かなって家族で参加させていただきまわした。講話を日帰りで受講させていただけることへの感謝、宇治別格本山という心安らぐ場所がそこにあること、講話というよりどころが継続してあること、これは決して当たり前ではないことを、痛切に感じて感謝しました。

謹 告

前生長の家宇治別格本山総務として、長く練成会でご指導くださいました楠本加美野先生が、令和4年3月23日(享年百歳)ご昇天なさいました。謹んで皆様にお知らせ申し上げます。

つきましては『宝蔵』5月号を楠本加美野先生追悼号にいたしたく存じます。

楠本先生へのお礼のことは、ご指導を受けられての体験談など、思い出と感謝をなるべく短くまとめていただいて手紙、メール、メッセージなどで、宇治別格本山 情報誌『宝蔵』係までお送りくださいませ(締め切り:4月20日)。

尚、お送りくださった全てをお載せできなくとも、まとめて、ご遺族にお渡ししてご霊前にお供えいただきますよう、お願いする所存でございます。

何卒よろしく願い申し上げます。

情報誌『宝蔵』編集担当

長田先生が宇治を去られることは、寂しく残念なことです。また先生のご講話を拝聴できる日が必ずあると信じております。長きにわたり、多くの信徒をお救いくださり、ご愛念を頂きましたこと心より感謝申し上げます。家族皆同じ思いでございます。有難うございました。

S. Y (60代)〈女性〉

『宝蔵』二月号の先生の書かれたご文章を何回も読んでいます。先生が宇治を退職されることを知り、驚きと共にショックでした。コロナが収まったら、

すぐにでも宇治へ行こうと思っていました。無理をしても、昨年ご講話に参加して魂を磨きたかったと思っています。長田先生は、楠本加美野先生が退職されてから、その前からもずーっと練成会や孟蘭盆供養大祭、様々な行事を任せられ、重責を果たされました。「楽しく行ずる練成会」では、午前三時からの神想観も先導くださり、とても有難かったことが忘れられません。お陰様で何十回となく、練成会に参加させていただき、個人指導も受けさせていただきました。昨年十一月、お手紙で個人指導をしていただき、頂いたお手紙は、今も毎日読み返しています。



大切な宝物です。お陰様で私の思いもだんだんと変わり、今年のお正月には三男が彼女を連れてきて、結婚の報告を受けました。新年早々嬉しいサプライズでした。

コロナがはじまってすぐに、早朝行事を配信してくださり、宇治ネットフォーラムや土日の講話と色々と、取り組みをしていただきまして、本当に有難うございます。世界中の人たちと共に宇治の早朝行事で一日のスタートができますこと、有難く思います。

長田先生色々にご指導有難うございました。

Y. S (50代)〈女性〉

長田先生のご退職はショックが大きく、たまらない思いです。でもいつか喜んで感謝して、お祝いできる気持ちになれば…と願っています。

先生の「実相と現象」のご講話は、本当に大好きでした。いつもまっさらな

気持ちになって、あの不思議な世界に引き込まれ「ああそだったのだ!」と、大きな安心を得ました。そこを聴きたくて、一般練成会の前半だけ参加したこともよくありました。

私は長田先生が練成部長をされている宇治しか知りません。大きな一つの時代が終わるのだと思うと、涙があふれそうです。

私は「信仰即生活」という言葉が好き

清水講師への礼状

善悪を超え

R. A (70代) (女性)

です。穏やかな気持ちになります。宇治の練成会では、いつもそれが感じられていて、だから宇治にお伺いするのが好きだったのだと、今、思っています。

最後になりましたが、お身体大切に、これからもお元気で活躍なさいますよう、お祈り申し上げます。

長田先生四十二年間の宇治別格本山奉職お疲れ様でした。

昨年私の兄の長男が若くして亡くなりました。本当にショックを受けました。私は兄夫婦を励ますつもりで『顕浄土成仏経』のお経の本を送ってあげ、私も朝と夕に誦けていました。そうすると、四部経の中の『久遠生命の神示』と『久遠いのちの歌』も読みたくなり、そこそ毎日読むことにしました。

そうしているうちに、だんだん人間の生命は一回きりではないのだ、肉体の人間は死ぬけれども、本当の魂は死なない、生き通しなのだということを「そだったのか!」と強く思うようになりしました。そして、「今生きている私

なんて永遠の生命から見ると、ほんの少しの間なんやな」とすごいことが書いてあるなと感心しておりました。今まで何回も何回も靈魂のお話は生長の家でお聞きしていて先祖供養もしていたのに、全然わかっていなかったことを痛感していました。

それで「私は今度生まれてくるときは、身体障害者でなく、立派な健康体で生まれてくるぞ!」と思って思いも新たに喜んでおりました。とは言っても七十五才にもなると障害がある上に老いというのが重なって、そこら中が痛んで参ります。「ああだめだ」と落ち込

んだり「神の子だ!健康だ!」と自分に言い聞かせたりして生きておりますが、ある日ふと清水講師から頂いたハガキを再度目にするチャンスに恵まれました。何の気なしに拝読したのです。

神の子の人生はただ光一元ですね。善悪を超えてただ愛と感謝を生長させていくだけですね。

無限に幸福と豊かさが深まる人生に感謝合掌するだけです。

とありました。私はお言葉の中の「善悪を超えて」の所に衝撃を受けました。「えっ善悪を超えて?良いことも悪いことも超える?ということはいいいことも悪いことも全部受けとめるのか?今までの自分は悪いことが見えて、思えて仕方がなく、良いところが見えず暗闇の中でさまよっていた!良いところもいっぱいあるのに!違っていた。悪いと思えることもそれを超えるんや。そしてその上にある光をみるんや。今の人生でそれを勝ち取るんや」と気付きました。それでよろしいでしょうか?

こちらはまた雪が降っています。春は遠くても必ず来ますね。待ちます。

〈神癒祈願のお礼状〉



孫が高校に合格しました

I. T 〈女性〉

子供の事故以来、神癒祈願のお世話になり、子供たちの生活も戻り、我々もやっと平穏な日々を噛みしめられるようになりました。これも、ひとえに神癒祈願のお蔭と感謝しております。先月も孫の高校入試の祈願をさせていただいたところ、前期試験の合格通知を頂きました。周りをハラハラさせるような勉強への様子に、私たちも祈るしかないという思いで過ごしておりました。合格は本当に夢のようで、親戚一同「奇跡だ」と驚き、喜んでおります。

本当にありがとうございました。

手術が無事終わりました

Y. D 〈女性〉

昨年四月に孫が未熟児で生まれまして。心臓に病気が見つかり、二ヶ所も穴が開いていました。すぐに神癒祈願をお願いし、毎日神想観しておりました。先月、大きな手術にもかかわらず、無事に終わりました。経過も順調で、二週間ほどで退院することができました。今日も元気に過ごしております。これも、ご祈願いただいたお蔭だと心より感謝致しております。ありがとうございました。

意識が戻りました

A. S 〈男性〉

昨年暮れに、誌友さんが交通事故に遭い、一時期は意識が戻らない状態で入院しておりました。すぐに神癒祈願を申し込み、私も実相円満を祈念

し、『甘露の法雨』読誦を行っていただきました。本日、奥様から「リハビリをしている。元気です」と連絡いただき、総連の皆と喜んでおります。祈っていただけ、本当にありがとうございました。



人型が届いてから 急に熱が下がりました

Y. U 〈男性〉

毎月の継続祈願、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

一月末に息子がコロナウイルスに感染し、熱が三十九度八分まで出ました。直ちに病院へ検査をお願いしましたが、すべて予約で一杯で、その日は止むなく自宅で寝ておりました。妻と手分けして、検査申し込みを翌日の土曜日に電話しましたが、生憎の土曜日ということで全て断られてしまいました。翌朝の神想観終了後、強烈にある病院の



く症状も出ず、
本当に助けて
いただきまし
た。息子は心
臓手術を過去
に受けており、

名前が浮かんできて、この病院なら予約が取れるという、強い思いが出ました。朝の八時過ぎに電話をすると、実に親切丁寧な対応で九時に来てくださーいという、有難いお返事を頂き、すぐに息子を連れて行きました。病院内での検査ではなく、ドライブスルーという形で検査を受けました。翌日の真夜中に病院から連絡が入り「結果は陽性です。保健所から指示の連絡が入ります。とりあえず、病床が一杯ですので自宅で寝ていてください」という事でした。

早速、神癒祈願をお願いしました。人型が届いたその日から急に熱が下がり始めました。本当に神様が護ってくださっているのだ！と実感しました。その後も熱は上がらず、救急車を呼ぶ必要も全くなく、約十日間の自宅療養で回復しました。私たち濃厚接触者も全

《写経のお礼状》



孫が高校に合格

N. A 〈女性〉

一昨年六月より、毎月写経を奉納させていただいております。先日、孫が第一志望の高校に合格しました。これも、皆さまの祈願のおかげと、家族一同喜んでおります。ありがとうございます。

その時も生長の家の神様に助けていただきました。誠に有難く、感謝以外ありません。どうお礼を申して良いかわかりません。下手をしたら、私も妻も入院という事態になっていたかもしれない。改めて、神癒祈願の素晴らしさを実感しました。現在も息子は元気に出勤させていただいております。本当にありがとうございます。

神癒の社 入龍宮幽齋殿 神癒祈願

「クレジットカード」利用のご案内

神癒祈願の申し込み、送金が「宇治別格本山ホームページ」または下記の「QRコード」からできます。

「クレジットカード」または「ペイパル」でお支払いの場合、神癒人型を当日または、翌日に発送します。

※但し、1件の申し込みにつき奉納金1,000円以上です。

詳しくは、祈願部神癒祈願課までお問い合わせください。

電話 0774-21-2157 FAX 0774-21-2167



◆ オンラインによる対面個人指導（無料）を行います ◆

※お申込みにより日程を調整致します。

時間：9：20～12：00・13：00～16：00

担当講師：清水志郎本部講師・榎本一子本部講師補

岡田浩二本部講師補・田野靖彦本部講師補

（担当講師のご希望はお受けできません）

条件：zoom かメッセージングをご自分で繋げられる方

お申込み方法：facebook **生長の家宇治別格本山ページ**、または、
メール **rensei@uji-sni.jp** へ、メッセージでお名前（ふりがな）・電話番号・ご希望日時をご送信ください。



担当講師等、こちらより返信いたします。

◆ 宝蔵神社先祖・流産児供養祭 ◆

=== 4月16日（土）午後3時30分～ライブ配信 ===

記載いただいた霊牌は、奉納金1柱100円以上を添え現金書留にてお送りいただくと、宝蔵神社霊殿に奉安されます（13日必着）。供養祭はFacebook「生長の家宇治別格本山」ページにて、ライブ配信致しますので是非ご覧ください。



・練成会は令和4年4月まで中止です。
・再開につきましては、
ホームページ又はfacebook・お電話
でお問い合わせください。



◆ 4月宇治別格本山で行われる行事 ◆

- 11日（月）10：00～ 自然災害物故者慰霊塔月次祭※無参列
13日（水）10：00～ 宝蔵神社月次祭（ライブ配信）※無参列
全国流産児無縁霊供養塔供養月次祭※無参列
16日（土）15：30～ 宝蔵神社先祖・流産児供養祭（ライブ配信）※無参列
19日（火）10：00～ 末一稻荷神社月次祭・精霊招魂神社月次祭※無参列

※上記御祭へのご参列はご遠慮ください※



宗教学法人 生長の家 宇治別格本山
京都府宇治市宇治塔の川 32
Tel.0774-21-2151
www.uji-sni.jp/



ISO 14001 認証取得



この印刷物は古紙配合の再生紙を使用し、自然にやさしい大豆油インクで印刷しています。